

Ⅳ 本年度の行動計画

1 教科指導の充実と授業改善を進め、生徒の学力向上と確かな学力の習得に取り組みます。

◆全日制

◎高い目標（9割が国公立を志望）を目指して、粘り強く努力する姿勢を大切にする指導をします。

【取り組み状況の指標】

生徒の粘り強く努力する姿勢の障害となる不安や焦りを解消するために、年間4回以上の面談の実施と、20号以上の学年便りの発行に取り組みます。

【達成状況の指標】

生徒たちの多くが志望している国公立大学の合格数が、普通科・理数科卒業者数の4割以上の達成を目指します。

◆定時制

【取り組み状況の指標】

- ・1、2年において国語・数学・英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の向上を図ります。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度80%を目指します。

2 入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育に取り組みます。

◆全日制

◎キャリアデザインを通じたコース選択や志望校の決定をし、第1志望校の合格を実現します。

【取り組み状況の指標】

校内大学説明会、進路講演会のねらいを明らかにし、内容の充実を図ります。
3学年普通科・理数科の全員が4月の第1志望校の志望理由書を完成します。
難関大の中でも希望者が多い名古屋大学の入試対策講座を新規実施します。

【達成状況の指標】

説明会、講演会の事後アンケート結果において全項目3点以上（4点満点）
国公立大学現役合格者数が、普通科・理数科卒業者数の4割以上
名古屋大学現役合格者数が15名以上
3年4月の第1志望校に現役で合格した生徒が、普通科・理数科卒業者数の2割以上

◎看護師国家試験全員合格を目標とし、思考力や判断力を養うとともに、自主的、主体的な学習習慣を確立し、学力の向上・定着を図る。

【取り組み状況の指標】

- ・学習に取り組む姿勢を育てるため、課題学習の工夫・改善を図り、課題提出を徹底させます。
- ・学習の具体的目標を持たせるため、各テストを計画的に実施し、その結果を踏まえた生徒個々に応じた個別指導を行います。
- ・専門領域の充実と、職業観育成のために外部講師を招いてキャリア教育の充実を図ります。

【達成状況の指標】

- ・学習課題の充実を図り、また、期日までに提出できる生徒が100%を目指します。
- ・学習状況調査において、日々の学習時間「1時間以上」と70%以上の生徒が回答することを目指します。
- ・国家試験合格率100%を目指します。

◆定時制

【取り組み状況の指標】

- ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、主体的に進路を選択できる力を身に付させます。

【達成状況の指標】

- ・生徒の有職率80%を目指します。

3 生徒指導、人権教育、健康教育を充実させ、生徒の心と体の健全な育成に取り組みます。

◆全日制

◎生徒が小中学校で学習した人権に関する知識を、自分自身の生き方になぞらえて考えられるよう指導します。

【取り組み状況の指標】

- ・人権便りを発行し、生徒の日常に生じる内容を取り上げ、人権推進教育を身近に感じられるように促します。
- ・人権講演会を企画・実施し、差別の現況や困難を知り、生徒自身の人生に結び付けて考えさせ、人権に対する意識を高めます。
- ・人権LHRを企画・実施し、生徒が主体的に話し、相手を受容することを体験するよう、指導します。

【達成状況の指標】

人権講演会・人権LHR後の感想アンケート記入において、肯定的な意見・感想などが8割を超えることを目指します。

4 社会の変化に対応した教育活動に取り組みます。

◆全日制

◎生徒間の対話を深め、気づきが得られるような「総合的な学習の時間」の計画を考えることで生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指します。

【取り組み状況の指標】

1年生はオープンキャンパスを利用した自主活動などを、2年生は修学旅行での班別行動をつかった自主活動などを、3年生は校外研修会を使った自主活動などを行います。また、対話と気づきが大切であることを訴える講演会を実施します。

【達成状況の指標】

「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒が8割を超えることを目標とします。

◆定時制

【取組状況の指標】

- ・生徒の「生きる力」醸成のために防災・環境・安全・健康・人権等に関する総合学習を年間35時間以上実施します。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度について4段階でA、B合わせて90%以上を目指します。

5 働きやすい職場環境を作るため、総勤務時間の縮減に取り組みます。

◆全日制

◎生徒が生き生き学校生活を送れるように、また教員が生徒とかかわる時間を十分確保できるように、教員間の連携を図り、業務や会議などの精選や効率化に取り組みます。

【取り組み状況の指標】

- ・企画委員会などを通して分掌間の連携を図ります。
- ・朝の打ち合わせを簡素化できるように取り組みます。
- ・同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。

【達成状況の指標】

職員満足度調査の人間関係の項目学校全体として、

- ①自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。
- ②職員間の対話は、活発に行われていますか。
- ③同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか。

以上の数値3.0以上を目指します。